

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045 (761) 4191
FAX 045 (759) 1162
発行人
平本 光 男

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信の内容：総集編、思いが繋ぐ畜産の未来、明るい未来へ向け
て畜産DXの取り組み、乳用牛改良の取り組み、地
域ぐるみで畜産飼料生産！ほか

スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

隔月1回（1日）発行
〔神奈川畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」 <http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>

11月
第一日曜日

たくさん、畜産、かながわ産。

かながわ畜産の日

かながわの畜産は横浜開港時の外国人を対象とした生産から160年を超える歴史があり、近年は戸数・頭羽数とも減少していますが、畜産物のブランド化や6次産業化の取組などがさかんです。

そこで、かながわの畜産が、これまで、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、毎年11月第一日曜日を、「かながわ畜産の日」と定め（※）、この日に記念イベントを開催するとともに、10月～11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じてかながわの畜産をPRすることで、県民の理解を深め、かながわの畜産の持続的な発展に繋げていきます。

※一般社団法人日本記念日協会の登録団体は一般社団法人神奈川県畜産会です

～日本のアイスクリーム発祥の地～
『太陽の母子像』『横浜/馬車道』

今年の11月2日（日）は
「かながわ畜産の日」

かながわの畜産が、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、2023年11月、「毎年11月第一日曜日はかながわ畜産の日」と

定め、この日に記念イベントを開催するとともに、10月～11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じてかながわの畜産をPRすることで、県民の理解を深め、かながわの畜産の持続的な発展に繋げることとします。今年度の取組ですが、11月2日（日）に、湘南台公園で第3回記

念イベント、「かながわ畜産の日」ドフェス2025 in 湘南台」と「第34回かながわトントンまつり」を同時開催する予定です（昨年度は6千人を超える来場）。一方、11月2日当日に湘南台公園以外で開催予定のイベントや10月～11月にかけて県内各地で開催予定の畜産関連イベント、地域の

「かながわ畜産の日」の取組

記念イベント開催（11月第一日曜日） 県産畜産フードが大集合！記念イベントの開催（かながわ畜産ブランド推進協議会主催）

農産物直売所などでかながわの畜産をPR（10月～11月） 地域の大型直売所や農場の直売所がかながわの畜産をPR

こどもたちにも「かながわの畜産」を知ってほしい（10月～11月） 学校給食への県産畜産物の提供に併せて食育活動などを実施

県内の畜産農家戸数と家畜頭羽数

乳用牛 117戸/4,020頭	肉用牛 51戸/5,130頭
豚 41戸/67,200頭	採卵鶏 38戸/1,041,000羽

※令和6年2月1日時点（農林水産省畜産統計。採卵鶏は1,000羽以上飼養者）

県産畜産物の生産量

牛乳 24,245t/63万人分	牛肉 1,454t/15万人分
豚肉 9,244t/44万人分	鶏卵 18,911t/97万人分

※令和5年（神奈川県畜産課推計）

QRコードを読み込んで神奈川の畜産を知ろう

かながわ畜産ひろば 神奈川県畜産課HP

【お問合せ】 一般社団法人神奈川県畜産会
神奈川県環境農政局農水産部畜産課

Tel 045-761-4191
Tel 045-210-4508

大型直売所や農場の直売所でも、かながわの畜産をPRしていただきたいと考えております。さらに、学校給食についても、県産畜産物の提供に併せて食育活動等を実施するなど、様々な形でかながわの畜産をPRしていただきたいと考えております。かながわ畜産ブランド推進協議会では、かながわの畜産に関するPR動画や県産畜産物のパンフレット、かながわ畜産の日のチラシやのぼり等PR資材を用意しております。10月～11月の強化月間に向け、PR資材の配布について取りまとめを行いますので、ぜひ、ご利用いただくようお願いいたします（JAグループについてはJA神奈川県中央会が取りまとめ予定です）。3年度目となる「かながわ畜産の日」ですが、これまでの取組では、「県産畜産物をたくさん知ることができてよかった」「神奈川の畜産をもっと広めよう」など、神奈川の畜産を応援するたくさんの方の声が寄せられており、さらに県民の皆様にながわの畜産を知っていただきたいと思っております。

（畜産会 高尾）

牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）

交付状況

令和七年四月～六月交付金確定単価

（肥育牛一頭当たり）

○肉専用種

四月

交付なし

五月

交付なし

六月

一一、〇七一・七円

○交雑種

四月

交付なし

五月

交付なし

六月

六、八六六・一円

○乳用種

四月

二一、四二二・七円

五月

二九、五四九・七円

六月

二七、二六四・六円

（畜産会 倉迫）

肉用子牛生産者
補給金制度

令和七年度第二四半期（七年四月～六月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種

六五〇、九〇〇円

交雑種

三八二、五〇〇円

乳用種

二五四、七〇〇円

黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

（畜産会 藤田）

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

10月13日(月)～10月17日(金)ナイター
11月17日(月)～11月21日(金)ナイター

広告

国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会
TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

エコフィードを活用した肥育牛用飼料の 温室効果ガス排出量の削減効果

【目的】

エコフィードを活用した畜産物の生産は、飼料費削減だけでなく、畜産経営から排出される温室効果ガス（GHG）を削減し、脱炭素化社会の実現に貢献することが期待されます。本県の肉用牛経営では、古くからトウフ粕やビール粕などのエコフィードを活用した飼料の利用が多くみられます。そこで、県内肉用牛農家のエコフィード混合飼料の温室効果ガス（GHG）排出量を調査し、評価しました。

【方法】

エコフィードを活用している県内肉用牛肥育農家5戸（A～E）を調査しました。GHG排出量は、「飼料原料の生産」、「エコフィードの輸送」、「混合飼料の調製」の各段階で発生する二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の排出量の合計をTDN1kg当たりの二酸化炭素（CO₂）換算量として算出し、市販の肉牛肥育用配合飼料（市販配合飼料）と比較しました。

【結果】

エコフィードとして、トウフ粕はすべての農場、ビール粕は3農場で使用し、この他に、酒粕、くず米、破碎米、パスタ、オリーブ粕を使用しており（図1）、飼料中のエコフィード混合割合は、原物で41.2～68.0%でした（表1）。飼料成分は、混合飼料の水分は37.2～46.2%、TDNは57.2～90.8%であり、市販配合飼料は水分12.6%、TDN84.3%でした（表1）。



図1 エコフィードの一例
（左上：トウフ粕 右上：ビール粕
左下：パン 右下：パスタ）

表1 混合飼料の概要

農場	エコフィードの種類	混合割合 (%)	飼料成分 (%)	
			水分	TDN
A	トウフ粕	50.0	42.4	83.9
B	トウフ粕、ビール粕、破碎米、酒粕	54.6	46.2	84.8
C	トウフ粕、パン、ビール粕、酒粕、オリーブ粕、くず米	68.0	45.9	90.8
D	トウフ粕	41.2	43.9	84.1
E	トウフ粕、ビール粕、パスタ	45.2	37.2	57.2
市販配合飼料			12.6	84.3

エコフィードの混合割合及び水分は原物当たり、TDNは乾物当たりの値

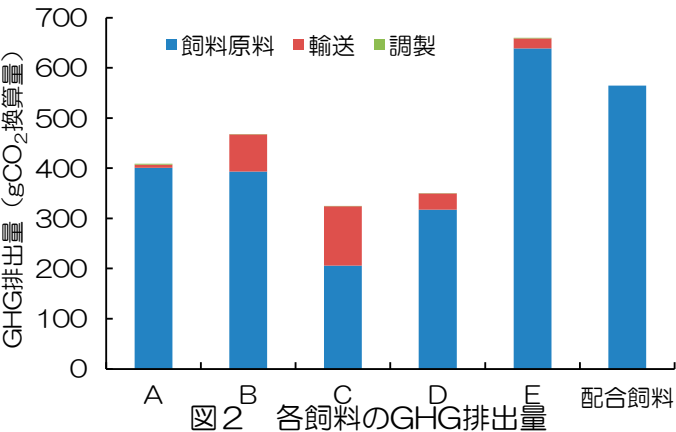


図2 各飼料のGHG排出量

混合飼料のGHG排出量の大部分は、「飼料原料」の生産に由来し、「混合飼料の調製」に由来するものは、ほとんどありませんでした（図2）。

混合飼料のTDN1kg当たりのGHG排出量は、351～660gであり、配合飼料の564gと比較してA～D農場では17～42%削減されましたが、E農場では17%増加しました（図2）。E農場でGHG排出量が増加した要因は、市販配合飼料と比較してTDN含量が低かったことが挙げられます。

エコフィードを活用した混合飼料は、多くの場合GHG排出量を削減することがわかりました。今回は、飼料のGHG排出量を紹介しましたが、現在、肉用牛生産に関わる全ての行程のGHG排出量削減効果について調査しています。（畜産技術センター 担当：企画研究課 湯本森矢）

＜堆肥に関するお知らせ＞

自ら生産した堆肥を他者に渡す場合は、無償でも生産業者としての届出が必要です。

堆肥を有償で他者に渡す場合は、販売業者としての届出も必要です。



「肥料の品質の確保等に関する法律」
に基づく届出

必要な届出	届出書類
他者に渡す場合 <u>特殊肥料生産業者届</u> 	<div><input type="checkbox"/>特殊肥料生産業者届出書 2部</div> <div><input type="checkbox"/>申請者確認書類・・・★ ☑<法人>登記事項証明書（枚数が多い場合は、現在事項証明書で可） ☑<個人>住民票の写し ☑<任意団体の場合>代表者住民票の写し、組合の構成員名簿、組合理約</div> <div><input type="checkbox"/>生産工程の概要（フローチャート等） ・原料や副資材の種類と混合割合、切り返し回数や堆積期間など</div> <div><input type="checkbox"/>生産する事業場の案内図（地図） ・必要に応じて行う立入検査時に、生産事業場の場所がわかる案内図</div> <div><input type="checkbox"/>表示票※¹の見本 ・表示項目(8項目)：肥料の名称、肥料の種類、届出をした都道府県、表示者の氏名又は名称及び住所、正味重量、生産した年月、原料、主成分の含有量※²</div> <div><input type="checkbox"/>分析証明書（FAMICの指定する分析方法によるものに限る） <注意>分析機関に依頼する時に、FAMICの指定する分析方法か聞いて下さい。</div> <div><input type="checkbox"/>肥料見本 200g程度</div>
販売する場合 <u>肥料販売業務開始届</u>	<div><input type="checkbox"/>肥料販売業務開始届出書 2部</div> <div><input type="checkbox"/>申請者確認書類・・・★と同じ</div>

【※¹表示票を作成するときの注意点】

- 「肥料の名称」は、届出書に書いた肥料の名称。
- 「表示者の氏名又は名称及び住所」は、届出書に記入した届出人の氏名（名称）と住所。
- 「正味重量」は、キログラム（kg）表示。容積量リットル（L）を併記することはできる。
- 「生産した年月」は、次のいずれか例により記載する。（例：令和7年7月、7.7、2025.7）
- 「原料」は「牛ふん」、「豚ふん」、「鶏ふん」、「牛のふん尿」「もみがら」等一般的な名称で表示。
表示の順序は混合した重量が大きい順に記入し、備考で重量の大きい順であることを記載する。
（原料が1種類の場合は、備考に記載する必要はない。）
- 「主成分の含有量等」は、次の表に従って記入する。
乾物当たりで表示する時は、「（乾物当たり）」と記入。数値は幅をもたせず、一つの値で表示。
- 表示票の枠内には、指定された項目以外の内容は表示しない。
（欄外には、肥料の品質について誤解を与えない範囲で、自由に表示することができる。）
- バラ積みやトランスバッグなど、一括して多量に出荷する場合は、表示票の印刷物を渡すなどして、必ず表示票が利用者まで届くようにしてください。



【※²主成分の含有量等の表示の要領】

項目	表示の要否	表示単位	誤差の許容範囲	表示桁数
窒素全量 りん酸全量 加里全量	含有量の多少にかかわらず必ず表示	パーセント (%)	表示値が1.5%未満の場合は、±0.3% 表示値が1.5%以上5%未満の場合は、表示値の±20% 表示値が5%以上10%未満の場合は±1% 表示値が10%以上の場合は、表示値の±10%	小数点以下 1桁まで
銅全量	原料に豚ふんを使用したもので、現物当たりの含有量が300mg/kg以上ある場合は必要	1キログラム 当たりミリ グラム (mg/kg)	表示値の±30%	整数
亜鉛全量	原料に豚ふん又は鶏ふんを使用したもので、現物当たりの含有量が900mg/kg以上ある場合は必要			
石灰全量	石灰を使用し、（飼料に添加される場合を含む）、現物当たりの含有量が15%以上ある場合は必要	パーセント (%)	表示値の±20%	小数点以下 1桁まで
炭素窒素比	数値の多少にかかわらず必ず表示	単位なし	表示値の±30%	整数
水分含有量	乾物当たりの数値で表示する場合は必要	パーセント (%)	表示値の±20%	小数点以下 1桁まで

※表示例

肥料の品質の確保等に関する法律に基づく表示

肥料の名称	神奈川たい肥1号
肥料の種類	堆肥
届出をした都道府県	神奈川県
表示者の氏名又は名称及び住所	かながわ株式会社 神奈川県横浜市中区日本大通り1
正味重量	20キログラム
生産した年月	令和元年12月
原料	豚ふん、鶏ふん、牛ふん、おがくず
備考	生産に当たって使用された重量の大きい順である。
主成分の含有量等（乾物当たり）	
窒素全量	4.4%
りん酸全量	4.1%
加里全量	0.8%
銅全量	315 mg/kg
亜鉛全量	937 mg/kg
石灰全量	15.2%
炭素窒素比	14
水分含有量	28.9%

「乾物当たり」で表示する場合に記載します。

表示が必要な場合に記載します。



※太字の文字は表示項目なので、語句を変えずに記載します。

問合せ先
神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢 1617
電話 0463-58-0333(代表) FAX 0463-59-7411

県外視察研修会を実施しました。

（一社）神奈川県畜産振興会は、7月2日～3日、役員・会員12名で県外視察研修会を実施しました。

今回の研修では、神奈川県に経営の軸足を置き、千葉県で農場を展開し、生産規模拡大をしている（有）横山養豚（繁殖農場）、（有）ブライトピック（銚子農場・GP農場、溝原液状飼料工場、飼料米倉庫）を視察し、他県において経営を始めるための工夫や苦労などを実感してもらい、それを今後の経営に活かしてもらうことを目的としました。

また、いすみ市で6次産業化や耕畜連携など多角的な経営を行っている、（有）高秀牧場を視察させていただきましたので、その概要について報告します。

〔有〕横山養豚 繁殖農場

（有）横山養豚は、皆さんもご存じのとおり、神奈川県内に肥育農場、千葉県成田市に繁殖農場を有し、2サイトで一貫生産体制を展開しています。今回は、その成田市の繁殖農場を視察させていただきました。

〔概要報告〕横浜の農場周囲に住宅が増えたこと、敷地が道路にかかっ

たこと、志澤会長から、「よそに出ないためだ。」と言われていたことなどが県外に農場をもつきっかけとなった。そして、周囲に養豚場が少ない、農場の立地、志澤会長のアドバイスもあり、平成21年にこの農場（母豚500頭規模）を購入し、利用を開始した。新たに農場経営をするにあたっては、地域の要となる人と良く話をし、理解をいただいた。その結果、共同浄化槽の使用や堆肥の販売先の確保など色々と協力いただき、スムーズに経営を開始することが出来た。浄化槽の新設に要する費用や許可等を考えると、共同浄化槽を活用させてもらえたのは非常に有難かった。成田繁殖農場は、次男（拓生さん）に管理を任せているが、当時から地元消防団にも参加するなど、地元とも積極的に関わっている。畜舎は食品工場と同じであり、ここで作ったものを食べたいと思ってくれるような施設で豚を育てたいと考えており、畜舎内の清掃・消毒を徹底している。1年ほど経った時に、周囲の人から、「以前よりもハエや臭気がなくなり、横山さんに来てもらってよかった。」と言われ、受け入れられたのだと感謝した。令和4年に新豚舎（写真参照・繁殖豚舎1棟・分娩舎1棟・離乳舎2棟・肥育

豚舎1棟・建設費130万円/1母豚 機械等の設置にクラスター事業を活用）を建設したが、地元からの反対は全くなく、資材等の搬入に対する協力もいただき、この土地に来てよかったと本当に思った。肥育豚舎を新築したことにより、繁殖候補豚を千葉で育成管理することが可能となり、衛生レベルも向上した。経営成績、労働環境、衛生レベルを良くするには、施設改善が必要であり、全てにおいて、新しい施設を造って良かった。また、周囲の土地を購入する際にも理解を示してもらい譲ってもらった。いずれは、その土地を活用し規模拡大したいと考えている。ここで何十年とやらせていただくので、周囲の人にも還元しないといけないと思っている。

〔所感〕話を聞いて、様々な努力、気遣いをしながら、地域と良い関係を築き経営を行っていることが良くわかりました。地域の主要な人に協力を仰ぐこと、地域と積極的に交わることで、地域のことを考えて経営することの重要性・必要性を改めて感じました。

〔有〕ブライトピック千葉

GP農場・銚子農場

（有）ブライトピックは、神奈川

県に1農場、千葉県に8農場を展開しています。千葉県での養豚経営は、昭和58年の第1農場開設が始まりで、すでに40年以上、千葉県で経営を継続しており、志澤会長は、「自分の持っている情報を全てオープンにし、地元の養豚農家と共に地域のレベルアップに尽力し、信頼を得たこと。また、学校給食や福祉施設への支援を続け、地域に受け入れられたことが大きい。千葉は第2の故郷である。」と話されています。

〔概要報告〕銚子農場は、肥育農場として最大で、約25,000頭を飼養しており、これはブライトピック総肥育豚の約40%を占めている。隣接しているGP農場（繁殖農場）は2010年に開設され、母豚数2,500頭を飼養している。繁殖農場と肥育農場が隣接しているが、事務所、管理者、進入口、動線など、全て別農場として管理している。

写真の浄化槽は6000t規模、それが施設内に3基あり、他農場分も含め、約50,000頭分の尿を処理している。処理水は河川放流しているが、排水にはとても気を使い、月に1度は外部機関で検査を実施し、排水のBOD濃度は常に二桁台を維持している。浄化槽は、農場の心臓部であり、ここに不具合が起きると経

営が立ち行かなくなるため、浄化槽の維持管理には特に力を入れている。

糞の処理は、90 m³×5基、60 m³×6基、35 m³×2基のコンポストで堆肥化している。90 m³の大型コンポストを利用しているのは銚子農場だけで、全国的にも養豚場でこの規模のコンポストを利用しているのは珍しい。粉状の堆肥は、近くの耕種農家に販売、その他はペレット化し、8割から9割は、北海道帯広市の農家に販売している。その際には、保存性を良くするために、水分含量を18%まで落としている。一部は地元

の耕種（水稻）農家にも提供している。耕種農家には、ブロードキャスターで散布できるため作業性が良く、臭気の少ないペレット堆肥は非常に好評である。

肥育豚には、溝原工場で作られたリキッド飼料に飼料米、サプリメントを調合して給与している。DMなど飼料成分の設定、給与量、飼料摂取量等は全てコンピューター管理（Aitech社）している。出荷後、枝肉から脂肪をサンプリングし、自社で分析、配合設計による肉質の状態を常に確認している。

【所感】全てが桁違いに規模が大きく、これほどの規模の農場でありながら、敷地内は整理整頓されており、臭気もあまり感じられませんでした。【朝の10分間全員清掃】という試みを実施しているとのことで、職員の清掃に対する意識が高いこと、排水管理も含めて環境に気を付けて経営していることが伝わってきました。職員の方から「地元の夏祭り、水路清掃に参加をし、時には、重機が必要な時は、一緒に作業を行うなど、地域の皆さんと一緒に汗を流すことが大切だ。」と聞きました。このような積み重ねが、地元にしつかりと受け入れられ、40年以上にもわたり、経営が継続できているのだと感じました。

また、農場の周囲約4 kmにわたり、高さ2 mの野生動物侵入防止用の鉄板フェンスが張り巡らされており、これも一見の価値があります。

【溝原液状飼料工場・鎗木倉庫】

【溝原工場の概要報告】 国産飼料に

こだわりの飼料自給率の問題と向き合い、取組を続け、2007年に溝原飼料工場を開設。飼料化施設内は、加熱エリアと非加熱エリアに明確に区分され、コンビニエンスストアからの原料は加熱エリアで処理をしている。パン、チョコ、インスタント麺、菓子、野菜など種類や形状が異なる様々な食品製造副産物を受

け入れている。乾物、包装形状があるもの、加熱が必要なものなどラインが分かれており、液状原料を入れたミキシングタンクで、粉碎した原料と攪拌・混合する。作業は、パート・アルバイトのほか地元のシルバー、障がいのある方を雇用し、仕分け・開袋作業を行ってもらうなど、地域の雇用にも貢献している。

多種多様な原料の各々の栄養成分を計算し、各ステージにあった栄養設計を行う。製造した飼料はロットごとにPh、塩分、味、比重などをチェックしている。

原料は月に大型トラック・4 t車など約75台分搬入される。令和5年度受入実績は、5,754 t/月、飼料製造量は8,803 t/月である。

出来上がった製品は千葉県内の自社5農場に搬送。総給与頭数は63,000頭（離乳子豚・肥育豚）にも及ぶ。

【鎗木倉庫の概要報告】 平成19年、

飼料米の取組を展開するにあたり、稲作農家60戸、畜産農家9戸と共に、飼料米を提供しても良いと手を挙げてくれた全量を受け取るための体制を構築し、鎗木倉庫を購入。徐々に規模を拡大し、現在は、飼料用米倉庫4棟、飼料用米収容能力3,400 t。粉碎設備は1号倉庫にあ

り、日量30 t粉碎できる能力を持つ。令和5年度の受入実績は6,747 t、6年度は4,200 t程度となっている。耕種農家が飼料米を生産しやすいように農産物検査法に基づく検査機関の登録を取り、低料金で受入検査を実施している。

【有】高秀牧場

代表取締役 高橋憲二氏

千葉県の房総半島南東部に位置する「いすみ市」で耕畜連携による稲わら、WCS、飼料用米など水田飼料作物の利用を通じた循環型酪農に取り組み、自家製の生乳を使ったチーズやジェラートなどの製造販売を行っている（有）高秀牧場（代表取締役高橋憲二氏）にお邪魔しました。

【概要報告】

〈農場の概要〉

この場所（須賀谷畜産団地）には、昭和58年に入植。八千代市にある50 aの土地を売却し、子供の頃から酪農を志していた憲二氏のために、補助事業等を活用し、23 haの土地、牛、機械、自宅等を購入し経営を開始した。実兄が4年間経営し、昭和63年、結婚と同時に就農した。八千代市にある実家では兄が酪農を経営している。

現在、乳用牛飼養頭数は200頭、うち搾乳牛は85頭。息子さん（30）が新しい牛舎を建てたいと言っており、計画を練っている状況である。60歳を過ぎ、近々、経営を譲ろうと思っている。

〈自給飼料生産について〉

平成20年に原油価格の高騰等により飼料価格が高騰した際、アメリカ、カナダの飼料作物生産現場を視察に行った。農家の人は作った飼料を貯蔵できる施設を作り、自分で保管し、値段が上がったら出荷するという形に変わっていた。今後、中国が穀物も大量に輸入するようになってきたら、エサを確保できなくなると危機感を覚え、地域の酪農家仲間、自分たちでエサを作ることを提案した。仲間からは大反対されたが、時間が無い、お金がないと言っている場合ではなく、これをやらないと生きていけないと説得し、できるだけ設備投資をしない形で稲のホールクロップサイレージを始めた。最初は2haから始め、翌年には18ha、32haと倍々に増やし、昨年は飼料用稲100ha、飼料用米60haを収穫した。当初、収穫は畜産農家側がおこなっていたが、現在は、稲作農家に有料で請け負ってもらっている。今年は、食料米の高騰により、飼料用稲が

20haまで減少した。飼料用米は減るのが分かっていたので、新しく3名の方と契約を結び、200t確保できるようにしている。現在、40名の稲作農家の方と連携をとってやっているが、高齢な人が多いので、稲作農家の事業を継承しないといけないと思い、M&Aによる事業譲渡契約に向けての取組みを進めている。

高秀牧場の粗飼料の自給率は、ほぼ100%。配合飼料の自給率が7割程度で配合飼料をどれだけ輸入に頼らないで行けるかだと思う。自給率は高いが、資材費等の高騰により、経営は厳しい状況にある。自給飼料や食品製造副産物（ビール粕、トウフ粕、酒粕など）を使い、餌のコストを下げながら、生産量をできるだけ上げざることを経営方針としている。出来れば、国産飼料100%で搾った牛乳でブランド化したいが、100%は難しいので、50%でブランド化できないかと思っている。

〈ふん尿処理について〉

自農場で生産される堆肥は、全ての自分の畑で利用している。畑をやっていない仲間は、処理に困っていたので、共同施設を作り、堆肥を袋詰めして販売していた。そうなること、1年中、袋詰めしているようになったので、現在は、稲作農家と連携し、田んぼに散布している。食料米を作っている稲作農家からは、「収穫量が増える」「食味も良くなる」ので、堆肥を入れて欲しいとの要望があり、堆肥は足りないぐらいである。牽引式のマニアスプレッダーで堆肥散布するので、散布するのは基盤整備をしている田んぼに限定している。

尿はラグーンで液肥にし、地域の田んぼに入れている。この液肥を使うと土が活性化して、根の張りが良くなり、食味がとても良くなると評判で、この液肥を使い、生産されたお米は、ブランド米として販売されている。

〈6次産業化について〉

平成23年にチーズ工房をオープンした。チーズの製造は職人に任せ、販売を夫婦でやっていた。牛の管理に手を抜いたわけではなかったが、生産量が落ち始め、このままでは牧場をつぶしてしまうことにもなりかねないと思い、カナダで就職していた娘にチーズ工房を任せることにした。また、ミルク工房（ジェラート）もやりたいとのことで、金融機関からお金を借りてすぐに実行に移した。チーズ工房やミルク工房の建築費用はもうすぐ支払いを終わるが、人件費もかかるので儲かりはしない。

しかし、6次化の取り組みを始めてから、畜産を専門的に勉強している人材を採用できるようになった。優秀な人材を確保するために6次化を始めたという意味では目標は達成したと感じている。

【所感】

本県とは、経営環境が異なるものの、地域酪農家との仲間づくり、耕種農家と連携、経営に対する考え方、地域の農業全体の事を考えるの行動など非常に参考になる話を聞くことが出来ました。

（一般社団法人

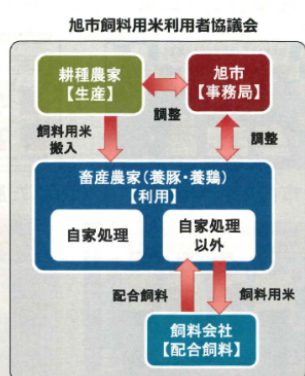
神奈川県畜産振興会 小嶋）

旭市飼料用米利用者協議会取組概要

旭市飼料用米利用者協議会の取組

協議会の概要

- 【設立】平成20年2月
- 【構成】畜産農家、昭和産業㈱、旭市
会員数：9（養豚4、養鶏5）
- 【事務局】旭市（農水産課）
- 【業務】・飼料用米の流通調整
・価格の決定
・契約書等の作成
・販売代金の管理
・飼料用米のPR活動 など
- 【R6年受入面積】628.3ha
（※作付面積全体の88.0%）





（有）ブライトピック千葉
銚子農場 汚水浄化施設



（視察写真）
（有）横山養豚 繁殖農場



（有）ブライトピック千葉
溝原液状飼料工場



（有）ブライトピック千葉
鋤木飼料米倉庫



（有）高秀牧場

高病原性鳥インフルエンザに 最大限の警戒を!!

令和六年シーズンには北海道において、家きんで最も早い十月十七日に初発事例が確認され、一時は本病発生件数が過去最多となった令和四年シーズンを上回る勢いでしたが、令和七年二月一日の発生を最後に、発生各道県の尽力により令和七年二月二十一日までにすべての防疫措置が完了しました。最終的には14道県51事例が確認され、約932万羽が殺処分の対象になりました。

令和六年シーズン

の発生から得た教訓

を共有するため、今年の七月に農水省で疫学調査報告書に係る情報交換会が開催されましたので、今回その概要について紹介させていただきます。

まず、全51事例のうち、9事例が過去に発生を経験した農場であり、そのうち1事例は3度目の発生でした。これらの農場がある地域は、その他の地域と比較し、環境要因等により本病の発生リスクが高いと考えられます。地域として日頃から発生に備え迅速に対応できるよ

家保だより

う準備をすることが求められています。また、17事例が20万羽以上を飼育する採卵養鶏場での発生でした。飼養規模が大きいことがリスク要因の一つであることは以前の発生事例でも言われており、万が一の発生時に備え殺処分対象となる家きんの数を削減するため、農場の分割管理に取り組むことも重要です。

また、家きん農場集中地域での発生については、羽毛や糞便に由来する塵埃を介して農場内に侵入したことも疑われています。これらは

感染拡大の要因になる可能性があると述べており、発生時の防疫作業では、

畜舎の排気口へのフィルター設置や、液状消毒薬を用いた排気口の継続的な消毒などの対策を取ることが必要とされていました。

鶏飼養者の皆様におかれましては、これから気を抜けない時期が訪れますが、家畜保健衛生所においても、適宜情報をお伝えし、発生予防対策に努めていきます。引き続き、飼養衛生管理基準の遵守と異常時の早期通報にご協力いただきますようお願いいたします。

（湘南家畜保健衛生所・山本）

蜜蜂は家畜 養蜂は畜産 ウクライナは養蜂大国

パレスチナ、ガザでは命と領土の奪い合いが続き、食べ物が無く痩せ細った子供たちの姿は八〇年前の日本の姿かとも。八〇年前の八月十五日、日本は米国を主とする連合軍に無条件降伏をして戦争が終わったと思っただが、ソ連は日ソ不可侵条約を一方的に破棄して日本の北方領土に攻め込みました。

広大な国土を持つて
いるのにもっとほし
いと。日本の北方守

新むらすずめ

着て対応し、領土は譲れないと。ウクライナは広大な農地を持ち、中でも見渡す

備隊は九月四日まで戦闘を続けました。北方四島や北海道まで奪おうとした火事場泥棒のようなソ連。ソ連崩壊後のロシアは豊かな国土のウクライナを欲しいと。戦場に駆り立てられたのはシベリヤ地方の兵や恩赦を与えると集めた囚人兵、国籍を与えると移民兵、新兵器技術と交換の北朝鮮兵等々はまるで死の商人だ。ロシアの人口はあの広い国土に日本の人口を上回ること三千万

人も無いのに、プーチン大統領はそんなにしてまで戦争をしたいのか。米国のトランプ大統領は就任前に「オレが大統領になったらロシアとウクライナの戦争を二十四時間で終わらせる」とうそぶいていたが、そうはいかない。プーチンを破格の厚遇で招き会談したが逆に強硬姿勢に変わりはないと。ゼレンスキーも今までのような腕をむき出しにしたシャツ姿ではなく、立派なスーツを

限りのヒマワリ畑には目を見張るばかりです。このヒマワリの花に群がるのは蜜蜂。ウクライナには養蜂業者が四十万人も。人口の1%が蜂で暮らしている。ロシアの軍事侵攻で三〇%の養蜂場が失われたそう。日本は養蜂関係資材を提供し、地雷除去等の圃場整備でウクライナを支援できないか。武器ではなく、甘い蜜で。

ヒマワリの蜜の味は？（忠九朗）